

令和元年 定期総会 開催

5月25日、狭山市立中央公民館にて令和元年度定期総会が開催されました。

冒頭に小川会長より、4月21日に逝去された小高誠太郎初代会長(現顧問)を偲んでその功績をたたえる挨拶があり、全員で黙祷を捧げました。総会は竹迫ミナミ副会長の開会の言葉で始まり、小川会長からは「文団連としては20年目を迎えました。昨年は三大事業の桜まつり、青少年文化体験フェスタ、市民芸術祭を予定通り実施することができました。本年の芸術祭は舞踊劇の雪女幻想を予定しています。本年は20年目の総会としてしっかりと審議をお願いします」との挨拶があり、来賓の小谷野剛 狭山市長からは「文団連の活動がしっかり地についてきた。来年はオリンピックの年で、狭山市はゴルフ競技の会場市として、市内で聖火リレーが実現できるよう働きかけをしている。文団連もより一層の活動をされますようお願いします」との祝辞を述べられました。続いて三浦和也 狭山市議会副議長から、加賀谷勉議長の代わりにご挨拶をいただきました。この他、来賓として小出泰弘 市民部部长、田中淳一 市民部次長、さらに市民文化課の小澤秀紀主査、大野松茂顧問にも参席いただきました。



小川会長の挨拶

定足数44人に対し、出席55人(うち委任状19人)で総会は成立。中内伊美子選任理事を議長に選出して議事に入り、まず平成30年度の事業報告、続いて決算・監査報告が拍手で承認されました。さらに、役員・顧問の改選案、令和元年度の事業方針・重点項目・事業計画案と予算案が審議・承認され、全議案の審議が終了しました。



議案の審議

●令和元年～2年度 役員・監査・顧問

会長：小川忠史	副会長：板屋捷子・竹迫ミナミ
会計長：張替絹子	事務局長：岸野智子
常任理事：五十嵐牧子・板倉 巧・小川豊子・中村伶華・藤寿紫峰	
監査：竹迫岳信・村田昌弘	顧問：大野松茂

●令和元年度基本方針

生き生きとした文化人が狭山にあふれることを目標とする。また市および関係各団体と協働し、狭山市が優れた文化都市になることを目指す。

- 重点項目
1. 渉外委員会を中心として、会員の拡大を推進する。
 2. 所属団体の活性化を図る。
 3. 狭山市の文化環境を豊かにする。
 4. 自主事業の発展的継続を図る。
 5. 狭山文化の掘り起こしと普及⇒「狭山の文化人を知ろう」プロジェクト活動を進める。